

◆これまでの取り組み



■ 広島大学・海上保安大学校・笹川平和財団と「呉市・広島大学Town&Gown構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成等に関する協定」を締結(令和5年7月8日)



■ 「呉市・広島大学Town&Gown構想シンポジウム」を開催



■ 「海洋・海事公開セミナーin呉」を開催



■ 呉市・広島大学 Town&Gown構想を推進し、海洋・海事の国際的拠点づくりの取り組みを積極的に進めていくため、海洋・海事に関わる市内外の行政機関や教育機関、関係団体、企業など、計60団体で、「海洋文化都市くれ推進協議会」を設立(令和6年1月31日)

■ 海洋文化都市くれ推進協議会の「令和6年度総会」を開催



こうした時代に、国際社会をより良い方向へ導くリーダーは、先進技術、気候科学、政策科学、新技術を社会で活用するための制度設計など幅広い学際的な知識に加え、高いコミュニケーション能力とリーダーシップを兼ね備えたグローバル人材でなければなりません。

また、デジタル技術や衛星技術の進展により、自動運航やカーボンニュートラル船など、次世代の船舶やその運航管理に関する技術革新が期待されています。このような背景のもと、海洋海事に関する世界のルールは大きく変わっていくと見られます。

近年の気候変動により北極海の海水の減少が加速度的に進行しています。これが海面上昇を引き起こして、低海抜の国や沿岸地域などに深刻な影響を与えることが懸念されると同時に、新しい北極海の航路の可能性も開かれています。

大きく変わる海洋・海事の世界情勢

VOICE

地域社会とともに世界とつながる知の拠点づくりを

「海洋文化都市くれ」を目指して

呉市・広島大学Town & Gown 構想では、海に関わる産業、伝統、文化が豊富な呉市に、広島大学が有する海洋・海事に関する教育・研究資源を集結させ、海上保安大学校、笹川平和財団、商船高等などの国内機関に加え、世界海事大学などの国際的な教育・研究機関とも連携することで、アジアを代表する次世代のグローバルリーダー育成拠点を形成します。さらに、この拠点を中心に、海洋・海事関連の企業や地域社会との連携を図り、「海洋文化都市くれ」の実現を目指していきます。



広島大学
かねこ しんじ
金子 慎治
理事・副学長

特集

～海に育まれた呉の魅力～

呉市・広島大学

タウンアンドガウン

Town & Gown 構想

アジアにおける、新たな海洋・海事の拠点づくり

問 企画課 ☎ 25-3274

瀬戸内海に面し、海とともに発展してきた呉のまち。その特徴である「海洋・海事」に関わる諸課題の解決や、地域経済の活性化などに向けて取り組んでいる、「呉市・広島大学Town&Gown構想」を紹介します。



タウンアンドガウン
Town & Gown 構想とは ?

大学と大学が立地する地域の自治体が持続可能な未来のビジョンを共有するなど、包括的に連携した上で、自治体の行政資源と大学の教育・研究資源を融合しながら活用することで、地方創生を実現し、持続的な地域の発展と大学の進化をともに目指す構想のこと。呉市では、広島大学や海上保安大学校、笹川平和財団に加え、関係企業・団体とともに、「海洋・海事」をテーマに取り組んでいます。

☑ 連携協力の主な内容

- ・ アジアにおける海洋・海事の国際的 教育・研究・社会連携の拠点形成
- ・ 海洋・海事関係の国際機関などとの連携
- ・ 広島大学大学院の海洋・海事に係る学際的な学位プログラムの実施などによる人材育成の推進
- ・ 先進技術を活用した海洋・海事に関するデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- ・ 瀬戸内海の自然環境を生かしたグリーントランスフォーメーション(GX)の推進
- ・ 新たな海洋・海事産業の創出に向けた関連企業などとの連携
- ・ 海洋・海事の国際的な拠点の形成に伴う連携・協力

▼詳しくは



「海洋文化都市くれ」を目指して

呉市は、国立大学法人広島大学、海上保安大学校、公益財団法人笹川平和財団と、令和5年7月8日に、「呉市・広島大学Town&Gown構想」の推進に向けて、連携を強化し、アジアにおける海洋・海事の国際的拠点形成と地域社会との活性化を図るために、協定を締結しました。締結式では、世界海事大学学長も協定締結式に同席するなど、幅広く産官学で連携することで、「海洋文化都市くれ」を目指す取り組みを進めています。



造船

呉で受け継がれる、職人の技 — 有限会社マリンクラフト風の子 —



こむら ひでと
小村 英十 取締役社長

当社では主に、海洋レジャー向けのプレジャーボートの造船・修理を行っています。デザインや設計に加えて、船体から内装まで、船のすべてを当社で作ることができるため、大手メーカーでも難しい、オーダーメイドの一艇を作り上げることが可能です。時代に合わせ、複雑な形状も加工できるように機械化も行っていますが、このような造船には、古くから受け継がれている「職人の技」が欠かせません。地域によっては、その技術が途絶えたところもありますが、呉では造船を始めとする、職人の技術が脈々と受け継がれています。多くの人にこの魅力を知ってもらい、未来につないでいきたいです。当社も、その一翼を担うことができればと思っています。



▲複雑な形状も加工できるNC加工機

世界経済の血流を担う、呉の海運

— 喜望峰の会 —

海運

私たち「喜望峰の会」は、呉市の海運会社が海洋・海事分野についての経営全般を学ぶための会で、現在、9社が所属しています。90年代頃、呉でも外航に進出する機運が高まった際に、情報交換の場が必要となったことで設立。下蒲刈地区の船主が中心となり、外部講師を招いた本格的な勉強会などを開催してきました。今では、年1回の勉強会に、地域の海運関係者のみならず、日本各地の船主、造船所、船舶機器メーカー、金融機関など、約300人が集まるようになっており、今年で33回目を迎えます。外航の仕事の魅力は、外国の人とコミュニケーションを取りながら、世界の経済に貢献できること。その一端を、呉の海運会社が担っていることをたくさんの人に知ってほしいですね。そのやりがい、今の若い世代に伝えていきたいですし、引き続き、私たちもこの業界を盛り上げていきたいです。



喜望峰の会のみなさん

呉の海洋・海事の現在地

呉で海の仕事に携わる皆さんに、海への思いなどを伺いました。



▲段ボールボートでの「船長体験」

中国運輸局呉海事事務所では、呉地区における船員の労務監督や船舶の検査など、海に関する仕事を幅広く行い、呉の海洋・海事業界を支援しています。その中で現在、課題となっているのは、「人材不足」です。この業界では、事業者の高齢化が進む一方で、世代交代が上手く進んでおらず、人材面で苦戦しているのが現状です。要因には、海技士などの資格を必要とする仕事が多く、学びのハードルが高いことがあるのかもしれませんが、そのため、中国運輸局では、地域の子どもたちに、幼い頃から海に関する仕事に興味を持ってもらえるよう、子ども向けの「航海体験」や、段ボールボートを自分たちで組み立て、実際に漕ぎ出す「船長体験」を企画するなど、海と親しむ機会を作っています。また、退官予定の自衛隊員などに向けた企業説明会を開き、経験を積んだ即戦力とのマッチングの場も提供。このような活動を通じ、人材確保に努めています。

海洋・海事業界が抱える課題

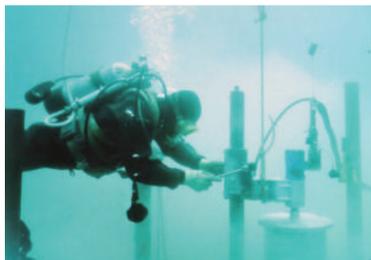
海事

呉の海を支える、縁の下の力持ち — 國富株式会社 —



くにとみ しょうじ
國富 将嗣 代表取締役社長

当社は昭和41年に呉市で設立された総合潜水企業で、「水の中の何でも屋」をしています。スキューバダイビングのように潜り、船底調査をしたり修理をしたりする船舶関連事業や、水中での土木工事、遺跡調査など、とても幅広い仕事があります。また、水中での切断や溶接など、多様な技術を身に付けることができるので、スキル面での成長が実感できるのも魅力です。全国に営業所を展開していますが、海外のお客様も多く、世界的にも求められている業界だと思えます。そのような背景もあり、海に関わる仕事の魅力を広く伝えていきたいと考えています。他にも呉には、海洋・海事の会社が多くあり、普通に暮らしていると「見えない仕事」が実はたくさんあります。縁の下の力持ちのような仕事にも興味を持ってもらい、この業界全体を盛り上げることで、海洋・海事のまちづくりにつなげていければと思います。



▲水中で作業する國富(株)の潜水士



中国運輸局
呉海事事務所
なかばやし えいじ
中林 英二 所長

世界とつながる仕事ができる！
海洋・海事の仕事の魅力は、なんといっても世界とつながれること。船員であれば、国内外問わず、さまざまな風景を見ることができ、造船などの仕事では、自分の作った部品や船舶が海を渡り、世界中に流通していきます。また、呉地区は国内でも有数の海洋・海事の拠点。呉ならではの海に関する仕事も多く、たくさんの方にぜひ見つけてほしいです。私たちも、「呉市・広島大学 Town & Gown 構想」と連携するなどして、今後、この業界をより良いものにしていきます。海や船舶などに興味がある人は、ぜひ、呉の海洋・海事業界にチャレンジしてみてください。

海洋・海事でつくる、まちの未来

海洋文化都市くれのイメージや、呉市・広島大学 Town & Gown 構想の今後の取り組みなどを紹介します。

目指す、まちの未来

高度な人材育成

◆海外、国内からトップクラスの研究者や優秀な学生が多く集まり、高度な人材育成が行われている。

地域経済の活性化

◆海洋・海事関係の企業群が数多く立地し、雇用、ビジネスチャンスを生んでいる。

世界とつながる知の拠点 ～海洋文化都市くれ～

海洋・海事DXやGXの推進

◆多くの研究人材やITベンチャーなどの企業が集まり、海洋・海事DX、GXの推進に向けた研究が進んでいる。

海洋ブランド都市の実現

◆海洋文化都市としてのブランディングにより、国内外で抜群の知名度があり、ネットワークのハブである。



☑ 呉市・広島大学Town & Gown構想の今後の取り組み ～海洋文化都市くれを目指して～

海洋未来研究所の設置

世界海事大学との連携や国際学会誘致など、国際的な教育・研究・社会連携の拠点形成に取り組みます。

国際的な人材育成

広島大学では、海上保安大学校及び国際的な教育・研究機関と連携し、将来的な海洋・海事の学位プログラムの構築に向けた検討などが進められています。

新技術の研究・開発

教育・研究機関や企業などと一緒に、自動運航や人工衛星を活用した海洋リモートセンシング、海上通信、次世代燃料、人材育成など、海洋・海事の課題解決に向けた取り組みを進めていきます。

未来の呉を
楽しみにしてクレ！



呉市・広島大学Town & Gown構想への思い

連携協定を結んだ団体などに、構想への思いを聞きました。

世界の求めるものが 詰まっている構想

公益財団法人 笹川平和財団
すなみ あつし
角南 篤 理事長



気候変動や海洋プラスチックなどの海洋をめぐる国際的な課題の解決には、具体的な取り組みの経験や知識の共有が何よりも重要です。Town & Gown 構想は、国際的に強く求められている、海洋・海事分野における経験や知識が数多く詰まった取り組みであり、まさしく世界が求めているものだと思えます。Town & Gown 構想の魅力をより深く理解してもらい、これ以上で協力していただければうれしいです。私も笹川平和財団も、これまでに構築した国際的ネットワークを駆使し、この取り組みを推進したいと思います。

構想に参画し、 地域貢献を

海上保安大学校
ついで なおき
筒井 直樹
大学校長



海上保安大学校は、開校以来70年以上にわたり、中央機関においては広範な海上保安政策をリードし、現場第一線においては、さまざまな業務に対応を指揮する幹部海上保安官を育成、輩出してきたほか、近年は一般大卒も受け入れ、教育体制の充実も図っています。また、海洋国家の我が国を巡る状況が複雑化する中、学術面で海上保安業務を支えるべく、海洋政策の調査研究や発信を行うほか、政策研究大学院大学と連携し、アジアの海上保安分野の人材育成でも重要な役割を担っています。長きにわたり呉に拠点をもち、当校では、地域貢献の必要性と重要性に鑑み、当校の特色を生かしながら、今後のTown & Gown 構想に参画していく所存です。

VOICE

産官学で協働し、 Town&Gown 構想の実現を



ジャパン マリンユナイテッド株式会社
なだ のぶゆき
灘 信之 代表取締役

120有余年にわたる呉の造船技術は、脈々と引き継がれ、弊社は、地球温暖化問題の解決をはじめ、持続的な社会の発展を目指して、グリーンでスマートな次世代船舶を生み出そうとしています。呉市は、広島大学をはじめ学究機関とともに、Town & Gown 構想を打ち出され、アジアにおける海洋・海事の拠点として、地域課題の解決に向けた科学技術イノベーションと人材育成による地域創生を新たなビジョンとし、行動を開始されました。ジャパン マリンユナイテッド (JMU) は、地域社会を支える産官学の一員として、Town & Gown 構想の実現に向けて支援、協働してまいります。

～海の魅力を知る、海で世界につながる～

海洋文化都市くれ海博2024

▼詳しくは



海に関する仕事や研究、最新技術に触れられる体験型で楽しく参加できるイベントです。大和ミュージアム周辺では、呉市・広島大学 Town & Gown 構想や海洋・海事関連の企業・団体の紹介ブース、船の展示・見学、子ども向けのセミナーやワークショップのほか、水素旅客船「ハイドロびんご」の体験航海を行います。そのほか、海上保安大学校での新練習船「いつくしま」の公開、JMU 呉事業所での造船所見学などがあります。(海洋文化都市くれ推進協議会 主催)

日時 11/10日 10:00～16:00

場所 大和ミュージアム周辺、
海上保安大学校、JMU呉事業所
※来場の際は公共交通機関を利用してください
※各会場間はシャトルバスが運行



▲JMU呉事業所(昭和町2-1)



▲新練習船「いつくしま」



▲上空から望む海上保安大学校(若葉町5-1)